

成果報告と寄付の御礼

学生団体「SONE」 花田 宏基

◎成果報告

2021年12月19日に長野県上田高等学校で実施された断熱DIYワークショップ(上田EFSプロジェクト主催)の視察に学生5人と教員3名で伺いました。

本ワークショップは上田高校の1年生の生徒3名が中心となり、冷暖房の使用を減らして二酸化炭素の排出削減につなげようとするもので、校内の学習室の壁面の断熱化及び窓の二重窓化をするなど断熱改修を実施したものです。当日は上田高校の生徒約20名が「エネルギーまちづくり社」の竹内昌義さん(東北工科大学教授)と内山章さんから断熱についての座学を受ける様子や、実際に断熱材を壁に埋め込む作業、ポリカーボネート製の複層窓の作成を経て教室の断熱化を施工する様子を見学しました。

実際に厚さ 5 センチの断熱材を設置する前後の壁表面温度をサーモグラフィカメラで計測したところ約 14℃の温度差があることがわかりました。断熱の必要性を深く学ぶ機会になりました。また本機会を参考に千葉商科大生を巻き込んだ断熱ワークショップの実施につなげていきたいと考えています。

◎寄付者への感謝のメッセージ

いつも温かいご支援をいただいている皆さまにおかれましては、SONE一同大変感謝申し上げます。この度は頂いた寄付金を活用して、昨年12月に長野県上田市で実施された上田EFSプロジェクト主催の断熱DIYワークショップの様子を視察することができました。

視察を通じて断熱改修の重要性と、さらには学生を巻き込んだ形での環境問題を考える場を拡大することの重要性について深く実感する機会となりました。

今後も我々が学んだことを活かして、千葉商科大学を中心に学生を巻き込んだ活動をさらに広げられるように精進してまいります。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

◎今後の課題と寄付への期待

COVID-19の影響により、これまで通りの活動が自由に行えない期間が長く続いております。そのような中、2021年度は7月に昔ながらの打ち水という昔ながらの手法で冷房の使用削減を訴える「打ち水で涼しく大作戦!」、12月には太陽光パネルで発電した電気を蓄電してイルミネーションを点灯させるイベント「再エネイルミネーション」をキャンパスで開催することができました。

これまでの経験と学生ならではのアイデアを通じて、SONE から学生へ環境問題の提起を広げていける活動を今後も実施していきたいと考えています。2022 年度では学内で一番多くのエネルギーを消費している冷暖房の削減と意識啓発を目的として本学にて断熱改修を実施し、「地球環境良し」「研究環境良し」「学習環境良し」を実現しようと計画をしております。今後ともご支援いただけますようどうぞよろしくお願いいたします。

